

令和4年度

社会福祉法人 本楯たちばな会

事業計画・予算書 (案)

事業所名		
(1)	本部	
(2)	軽費老人ホーム ケアハウス	「ふるさと」
(3)	保育所	「本楯保育園」
(4)	放課後児童健全育成事業	「鳥海学童クラブ」

目 次

1	本楯たちばな会基本方針	1 ページ
2	施設の概要	2 ページ
	(1) ケアハウス ふるさと	
	(2) 本楯保育園	
	(3) 鳥海学童クラブ	
3	職員配置	
	(1) ケアハウスふるさと・本楯保育園・鳥海学童クラブ	3 ページ
4	組織図	
	(1) 本部・ケアハウスふるさと・本楯保育園・鳥海学童クラブ	4 ページ
5	運営方針及び方法	
	(1) ケアハウスふるさと	5 ページ
	(2) 本楯保育園	8 ページ
	(3) 鳥海学童クラブ	9 ページ
6	会議	
	(1) 本部・ケアハウスふるさと・本楯保育園・鳥海学童クラブ	10 ページ
7	研修	
	(1) 本部・ケアハウスふるさと・本楯保育園・鳥海学童クラブ	10 ページ
8	年間・月行事予定	
	(1) ケアハウスふるさと 月間	11 ページ
	(2) ケアハウスふるさと 年間	12 ページ
	(3) 本楯保育園	13 ページ
	(4) 鳥海学童クラブ	13 ページ
9	収支予算書	
	(1) 令和4年度予算 全事業拠点区分合計	14 ページ
	(2) 令和4年度予算 本部	17 ページ
	(3) 令和4年度予算 軽費老人ホーム ケアハウス ふるさと	18 ページ
	(4) 令和4年度予算 保育所 本楯保育園	20 ページ
	(5) 令和4年度予算 放課後児童健全育成事業所 鳥海学童クラブ	22 ページ

1. 基本方針

本楯たちばな会は軽費老人ホーム(ケアハウス)「ふるさと」を開設運営をすることを目的とし、平成12年法人創設以来、事業開始後からは今年度の令和4年度で22年目となる。

昨年度は、世界規模でコロナ禍が一向に収束することなく経過したが、当法人の全ての事業においては、ひとりの感染者を出すことなく事業を継続してきた。また、当該年度の最大事業であるケアハウスの大規模改修においても、コロナによる世界的規模での流通停滞、特にチップ不足による改修機材の確保が困難になり、またその価格が三割以上も値上がりする状況となったが、その影響を全く受けず、結果的に作業の遅れや予算不足などに陥ることも無く、無事完了できた。市から移管を受けた保育園事業は満8年経過し9年目となり、また学童保育(酒田市放課後児童健全育成事業の経営)事業についても満4年を経過し5年目を迎えることとなる。

ケアハウスの機能として、昨今は制度的な施設の機能として求められている役割以外に、広く臨機応変に重度化等にも対応できるよう求められている。入居の申込状況は人口が減少している現状と相対的に推移しているが、それと相反して精神疾患やDV保護による入居の相談が増加しているなど、入居理由も開設時と比べてかなり様相が変わり、施設での対応も難しくなっている。

しかし、当施設は数少ない措置施設という認識のもと、その役割を果たすことは無論のこと、昨年の大規模改修を終えて向上した施設の機能を有効活用し、時代の変化への対応やコロナ禍の後に予測される物価上昇にも、制度と体制の限界を模索しながら臨機応変に適応し対応していく。

移管から満8年を経過した本楯保育園は、待機児童対策や保育士処遇改善等の施策により、未満児対応の強化により利用児童数が定員を超えるなど、今のところ経営の維持はできている。昨年は未だに軽度障害児が他園と比較しても異常に多い。しかし、外部からの専門家や大学からの助言や協力を得るなど、全国的にも前例のない体制を構築することにより、これらDV・ネグレクト問題を抱えながらもこの困難な状況を乗り越えてきた。今後も園児の受け入れは、どのような状況でも拒むことなく対応できるよう、大学を含む専門家からの助言・協力を得ながら職員のスキルアップを図り、ICT化による職員の負担軽減を図る一方、余力を子供たちの健全育成に向けてより良い対応ができるよう努力する。

学童保育も無事6年目を迎えることができた。学童保育所として求められる機能も変化してきているが、子供の貧困対策等にも配慮し対応するなど、学童保育所として健全な子供たちの成長をサポートする機能の充実を図っていく。

そして再挑戦ということで、今年度は酒田市民間事業者提案制度に「学童・保育所園舎建設(案)」を一月末に市長公室に提出した。少子化が進む中での地域における子育てサポートのあり方を新たな形として提案している。この実現は、今後この地域における子育て環境の充実だけではない。全国的にも前例のない事例として発信するだけでなく、利用する子供たちを自然に支え、育つことができる運営を目指すものであり、その実現に向け取り組んで行く。

コロナ禍の後、それに続くウクライナ問題により世界的には経済的にもそして法人の経営面においても激動の時代に突入することが予測される。しかし、あくまでも当法人の役割とは、この情勢の変化にも臨機応変に対応しながら、この地で今担っている事業を維持し安定をはかりながらさらに進化していくことである。役職員はもちろん、利用する方々をも巻き込み、共に地域に貢献しながら、関わる方々全員の「しあわせ」を目指していく。

以上を今年度の活動方針とし、この目的達成のために役職員が一丸となり取り組む。

2. 施設の概要

施設名	ケアハウス ふるさと	本楯保育園	鳥海学童クラブ
事業内容	軽費老人ホーム(ケアハウス) (介護予防)特定施設入居者 生活介護事業所	保育所	放課後児童健全育成事業所
施設の位置	酒田市豊原字大坪37番地	酒田市本楯字前田65番地の1	酒田市本楯字前田89番地2 旧鳥海小学校内
敷地面積	5,086.00㎡	2,853.337㎡ (酒田市からの無償借地)	酒田市所有物件
建物面積	2,879.27㎡	614.47㎡	343.75㎡
定員	50名	60名	36～45名
構造	鉄筋コンクリート一部3階建て	木造平屋建て	
設備	居室・・・44室 (個人用、トイレ・台所付) 居室・・・3室 (夫婦用、トイレ・台所付) 食堂・娯楽室 事務室・相談室・厨房 診察室・談話室 宿直室 男子浴室・女子浴室・個別浴室 冷暖房設備(全館) 冷房設備(一部) 放送設備 エレベーター(地上3階)	保育室・・・3室 乳児室・・・2室 ホフク室・・・2室 調乳室・・・2室 トイレ園児用・・・2ヶ所 遊戯室・教材室・遊具倉庫・沐浴室・医務室・調理室・食品庫・事務室・機械室 トイレ職員用・・・1ヶ所 冷暖房設備・暖房設備・冷房設備 放送設備	

3. 職員配置

()内は兼務職再掲 令和4年4月1日見込

	軽費老人ホーム(ケアハウス)
施設長(事務長兼務)	1
生活指導員	1
看護職員	1
介護員	6
栄養士	1
調理員	4
機能訓練指導員(看護職兼務)	(1)
介護支援専門員(介護職兼務)	(1)
事務(本部事務兼務)	(1)
合計	15

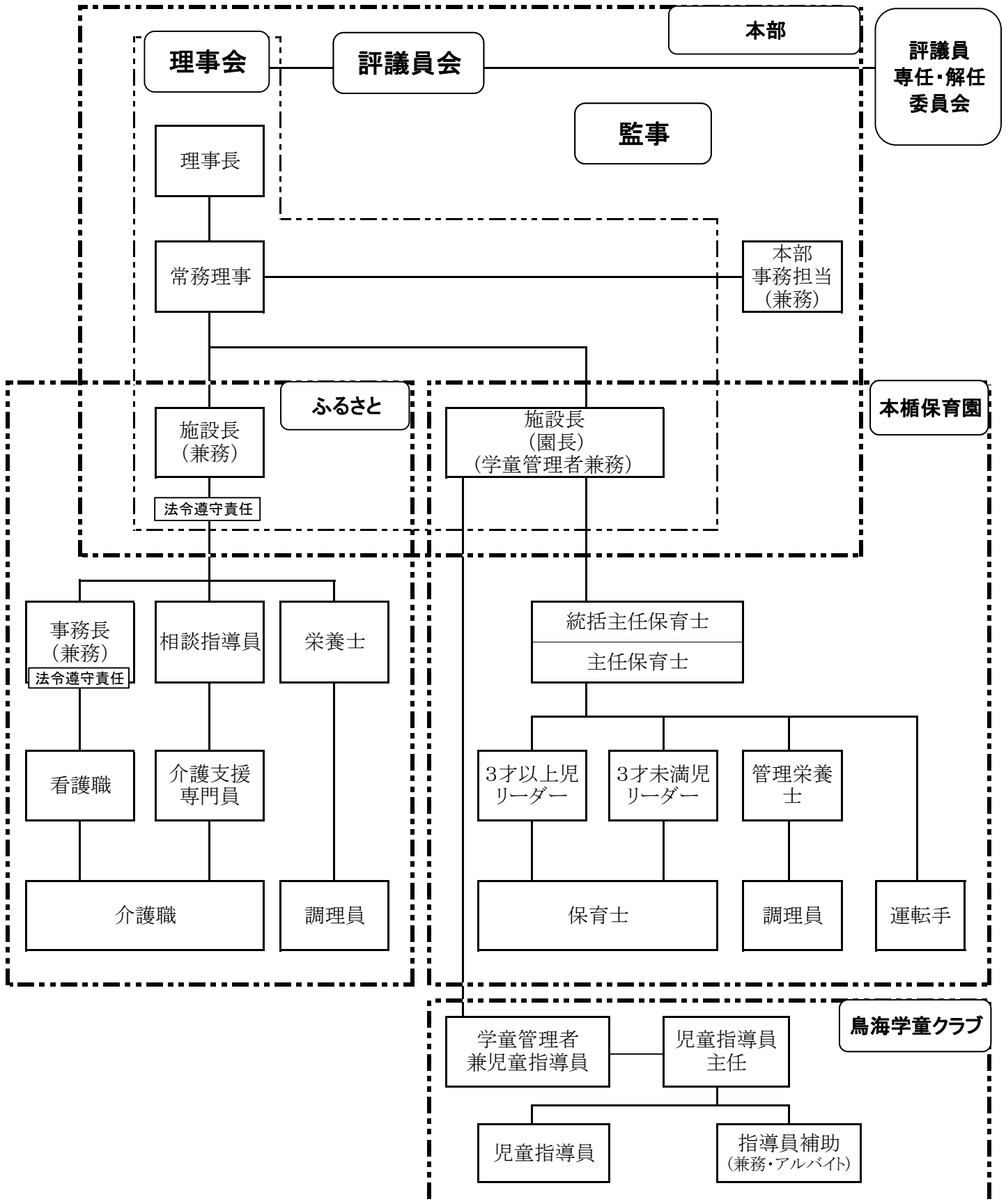
令和4年4月1日見込

	本楯保育園
施設長(園長・学保管理兼務)	1
統括主任(主任)保育士	2
保育士	11
保育士(臨時雇用)	2
看護師	0
保育助手(臨時雇用)	2
管理栄養士	1
調理員	1
調理員(臨時雇用)	1
事務(本部事務兼務)	(1)
運転手(臨時雇用)	1
合計	23

令和4年4月1日見込

	鳥海学童クラブ
児童指導員(管理者)	(1)
児童指導員	3
児童指導員補助員(本部事務兼務)	1
補助員(アルバイト)	0
合計	5

4. 組織図・職員配置表



5-1 運営方針及び方法

【ケアハウス ふるさと】

- ① 入所者のために、施設として果たすべき役割を全うし、その限界に挑戦するとともに、各関連機関と密接なつながりを構築し、情報ネットワークをより安心できる体制をより充実させていく。
- ② 入所者のプライバシーを尊重し、緊急時の対応については絶対の信頼を入所者から得られるようにする。
- ③ 利用者の自立性を高めるための自治会を、日常生活における交流はもとより地域での活動の中でも独立した自治会として参画し、コロナにより失われた関係を再構築するよう、地域貢献も含めた活動をするようにする。
- ④ ボランティアの受け入れや、隣接する学校や地域との連携をはかり、人の出入りを多くし、賑やかな施設になるよう活動する。
- ⑤ 様々な小グループのサークル活動をさらに企画し、立ち上げ、有識者からの協力を得ながら、入所者の日常生活の活性化をはかる。
- ⑥ 食材は極力地元から直接購入をはかり、安全で美味しい食事を安定的に提供することにより、地域への還元をもはかる。
- ⑦ 職員全員の接遇・知識・技術の向上を常にはかり、資質の向上をめざす。
- ⑧ 計画どおり設立時の借入金をほぼ償還したが、今後も将来を見据えた投資も視野に入れ、常に安定した経営・運営をこころがけ、施設としての信頼はもとより社会的信頼を得るよう努力する。

【継続及び新たな取り組みについて】

- ⑨ 特定施設入居者生活介護事業所として、更なる研究と研鑽をはかり、介護保険制度との整合性及び医療との連携を図りながら、老人福祉施設としてのありかた、そして新規事業への取組の模索を継続する。
- ⑩ 介護保険制度で取り上げられている「介護予防事業」について、既に実施している事業とすり合わせを行い、軽費老人ホームとして取り組むべきことを模索する。
- ⑪ 施設・設備の大規模改修を終えた設備等の機能を最大限運営に活用し、省エネを実現しながらも快適な生活ができるよう、持続可能な開発目標(SDG's)に基づく目標を達成するよう取り組んでいく。

5-2 ケアハウス部門別運営方針及び方法

【生活相談員】

活動方針及び方法

1. 居室稼働率を向上させ、満床状態を目指す

【目的】

安定した収入に繋げるために、待機者を確保し入退居の流れをスムーズに行う。

【方法・頻度】

- ① 法人内事業所、地域包括支援センター、居宅介護支援事業所、エリア内各病院相談室等へチラシを配布(月初め・随時)、ホームページやブログを活用し宣伝を行う。
- ② 2人部屋の稼働率向上のため、単身利用や冬期間の活用でも柔軟に対応する。
- ③ 入居相談一覧表を活用し、空室・待機者・相談状況を全職員で共有する。

2. 一般入居者との関わりを増やす

【目的】

入居者が心身共に落ち着いた状態で、本人の望む生活を送られるよう支援する。

【方法・頻度】

- ① 居室訪問や入居者と会話をする時間を作り、不安解消・処遇改善を図る。
- ② 必要に応じ、家族及び保証人との定期面談を実施し、適切な関係機関へ繋げる。
- ③ 臨機応変に、ケアマネや訪問介護・通所・医療機関などへ情報提供を行う。外部サービスを利用する入居者のサービス担当者会議に参加し、情報を提供・共有する。
- ④ 苦情報告の窓口として、施設に対する要望をくみ上げる。

【介護支援専門員】

活動方針及び方法

入居者の心身と生活の状態を把握し適切なケアプランの作成を行う

【目的】

入居者の介護度の差が大きくなっている。個々の状態に合ったケアを行うことで、体調を維持し心身ともに健康で活動的な生活を継続する

【方法・頻度】

- ① 多職種の連携や家族と情報共有を行いながら状態把握に努め、入居者各自の自立に向け、アセスメント・評価を行い適切なケアプランを作成する。
- ② 確実な介護保険更新の手続きと、酒田市の高齢者福祉事業の提案と申請の代行。
- ③ 主治医への生活情報の提供・共有により、連携を図り体調管理につなげる。
- ④ 日課としての体操や散歩の継続を促し、活動性を高め、閉じこもりを防ぐ。
- ⑤ 個別のニーズにあった口腔ケア、排泄ケアを実施し衛生面を保つ。
- ⑥ 認知症ケアと精神疾患の知識を深め、サービスの質の向上を図る。

【看護部門】

活動方針及び方法

1. 入居者の健康維持と疾病予防

【目的】

心身共に健康で安心した生活が送れる

【方法・頻度】

- ① 年一回の高齢者健診及び結核健診の実施
- ② 流行性、感染性疾患の早期予防のためのポスター掲示、自治会での啓発、予防接種の声掛け。発生時は迅速かつ適切な対応を行う。新型コロナウイルス感染症に対しては予防策を徹底する。

- ③ 加齢に伴う重度化も視野に入れ、日常生活の見守り観察、異常の早期発見、健康相談、月一回の体重測定、血圧測定の実施
- ④ 急変時は医療機関やスタッフとの連携を図り速やかな状況対応を行う
- ⑤ 記録の徹底と申し送りによる情報の共有、他職種との協働、連携による速やかな職務の遂行
- ⑥ 大浴槽の水質管理
 - ・1回／日、浴槽水の残留塩素測定を実施、数値の安定を図り水質保持に努める
 - ・年二回のレジオネラ菌検査の実施

2.職員の健康管理

【目的】

健康維持と安全な日常業務の遂行

【方法・頻度】

- ① 年一回の定期健診と予防接種の実施
- ② 夜勤業務のある職員は4ヶ月毎の間診の実施(症状によって受診、健診の検討)
- ③ 勉強会の開催(1回／月の職員会議での実施)
- ④ 新型コロナウイルス感染症に関し高齢者施設の職員として責任ある行動をとる。
- ⑤ マスク着用、手洗いなどの基本的な感染予防に努める。

【介護部門】

活動方針及び方法

1.個別性のある支援と関わり

【目的】

個々の本心を引き出し、その人らしい生活を支える介護

【方法・頻度】

- ① 入居者の言葉を傾聴・受容し、不安や不満、悩みを打ち明けられる関係を築く
- ② 個々のニーズの変化を把握し適切な関わりにて支援する
- ③ 医療機関等多職種間の連携、個々のニーズを共有し、統一したケアを提供する

2.アクティビティの充実

【目的】

コロナ禍に於いて外出制限される中でも、楽しみを見つけ出し、閉じこもりのない動的な生活を送って頂く

【方法・頻度】

- ① 活動に目標を持って参加出来るように支援する
- ② 週二回の運動行事に積極的な参加を促す
- ③ カルチャーホールでの行事回数を増やす

【厨房部門】

活動方針及び方法

1. 研究心・探究心の向上

【目的】

探究心を持ち合わせ日々の業務を行うことで、研究心に繋がると共に新しい取り組みへの糧ともなり、業務内容のマンネリ化を防ぐ

【方法・頻度】

- ① 日頃の業務から、小さな疑問を持ち合わせ課題を見いだす
- ② 厨房会議などの検討会を設ける
- ③ 情報交換しやすい環境作り

2. 食材費等の再検討

【目的】

取り巻く環境変化の中、食材等の大幅高騰が継続状況のため食材費等の算出の見直しが必要

【方法・頻度】

- ① 食材予算額の検討
- ② 食材料の特性・価格・購入方法を検討
- ③ 衛生管理に留意しながら、厨房内使用の消耗品や衛生物品の使用料・価格の見直し

5-3 保育園の運営方針及び方法

【本楯保育園】

児童福祉法に基づき、保育を必要とする子どもの保育を行う。保育は次の保育方針の基で行う。

1. 保育園を通して乳幼児期にふさわしい生活の場を提供しながら、子どもの生活環境や発達段階を踏まえ、必要に応じて一体的に支援する体制を作り上げる。
2. 就学へのスムーズな移行を考えたカリキュラムを取り入れ、興味や関心を高め、視野を広げた物の見方が出来るような活動や子ども達の吸収する力を引き出す関わりを大切にする。非認知能力を重要視した保育の展開を行う。
3. 本楯という地域性を生かし、地域の先生や地域の行事との繋がりを大切にし、保育に取り入れ、地産地消に力を入れたその土地ならではの食材を利用した給食の提供など地域全体で子どもを支えていく架け橋としての役割を担う。
4. 乳幼児期の子どもの育ちをよく理解した上で、個々それぞれの育ちに寄り添いながら心身の成長を保護者と一緒に喜び共感でき、また早い段階で育児に関する

保護者の悩みに気づき支援できる保育士のスキルを身につける。

5. 野菜やお米の出来る過程を間近で見ることが出来る活動を保育に取り入れる。食材に感謝する気持ちを持ち、野菜肥満や稲の生長を通して興味や関心を高め、食の大切さを知ってもらう食育活動を充実させる。

【 保育部門 】

- ① 質の高い保育を展開するため、積極的に研修会や学会へ参加する。医療・大学・研究機関や他専門職とこれまでの前例や概念にとらわれない「連携」を構築しながら保育のあり方だけでなく、全職員のスキル向上を図る。園全体の「保育の質」の向上を柱とし保育全体の質向上につなげ、関わる子供たちのよりよい健全な成長に貢献する。
- ② 外部の講師からの指導と定期的な内部研修を実施し、職員間の保育の統一、新人職員向けの研修などに力を入れていく。
- ③ 発達支援に力を入れた保育を展開する。

【 調理部門 】

- ① 地域の方の協力を得ながら旬の食材に触れることで、食に関する興味関心を引き出事を大切にしたい食育活動を行う。
- ② 安心・安全な食材を利用し、子ども達の健康な成長を第一に考えた給食、楽しみに思える給食作り。
- ③ 食物アレルギーの子どもに対しては、主治医の指示の下家庭と連携を図りながら安全に食事の提供を行う。
- ④ 職員同士協力し合い、人材育成と全体的な技術面の向上を図る。

5-4 学童保育クラブの運営方針及び方法

【鳥海学童クラブ】

1. 未来へはばたく子どもたちとともに、ほっとできる「みんなのおうち」をつくる。
2. 子どもたちの「居場所」そして保護者の方の「拠り所」を創る。
3. 地域・学校・行政等と連携し「愛される学童」になる。
4. 職員は「プロフェッショナル」として常に研鑽する。

【 方法 】

- ① 学校との連携を密にし、悪天候や危険性がある場合は、学校にコース変更を依頼したり、指導員が引率して安全に下校できるように対応する。
- ② 指導員のスキルアップの為、講演会や勉強会にすすんで参加し、一人ひとりの子供に合った対応方法を指導員同士で話し合い共有する。
- ③ 地域との交流を図るため、年に数回子供達と一緒に遊びや紙芝居など楽しみの機会をつくる。

6. 会議

法人運営基本方針及び施設運営方針の目的の達成、及び業務の円滑な運営をはかるため、次の会議を設置する。

会議名	開催日	出席対象 役職名	備考
① 理事会	5月 3月 必要時随時開催	理事 監事	法人運営方針決定他定款に定める議決決定
② 評議員会	6月 必要時随時開催	理事長 評議員 監事	法人運営にかかる諮問
③ 職員(運営)会議	毎月(必要時随時開催)	理事長 施設長 他全職員	施設運営にかかる協議・決定他
④ 入所判定会議	申込み時随時	施設長 事務長 指導員 栄養士	入退所にかかる決定他
⑤ 介護員会議	毎月(他必要時随時開催)	施設長 事務長 指導員 介護員	業務・入所者処遇にかかる協議・決定他
⑥ 厨房会議	毎月(他必要時随時開催)	施設長 栄養士 調理員	業務・入所者処遇(給食関係に限る)にかかる協議・決定他

7. 研修

役職員の知識・技術向上をはかるため、各関係機関主催の研修会・学会に出きる限り参加するようにし、健全な経営を目指すとともに最終的には入所者処遇の向上を目指す。参加者についてはその都度参加資格及び実績等をふまえた上で協議・検討し決定していく。

会議名	開催日	対象役職 名	備考
① 役職員研修会	県社協・経営者協・他	理事 監事 施設長	開催日未定
② 施設長研修会	県社協・経営者協・他	施設長	開催日未定
③ 指導員研修会	県社協・経営者協・他	指導員	開催日未定
④ 介護職員研修会	県・県社協・経営者協	介護員	開催日未定
⑤ 厨房職員研修会	県・県社協・他	栄養士 調理員	開催日未定
⑥ 学会	各関係学会	全職員	開催日未定

8-1 ケアハウス月間行事

月		実施回数	目標・目的
1	なごみの会	随時	昔培った腕前を生かし畑仕事を生きがいや、育てる喜びに繋げる
2	買い物ツアー	月2～3回	必要物品の自己管理と気分転換を図る
3	清水屋送迎	月2～3回	自己責任を持って行動範囲を広げ開放感と買い物を楽しむ
4	カフェ	月1回	数種類の飲み物とおやつを準備し注文していただき、会話やゲームを楽しむ
5	歌の会	月2回	楽しく懐かしい歌を歌いながら閉じこもり予防と廃用症候群予防の効果を図る
6	書道教室	月1回	精神統一し、満足のいく作品を書き上げる達成感や作品を鑑賞し合ってほどよい刺激を受ける
7	短歌サークル	月1回	心に思っている事や目で見たと事など五感をフル回転させ言葉にする事で表現力を養う
8	自治会	月1回下旬	生活のレベルアップに繋がるように意見を出し合い住みやすいふるさとを作っていく
9	カラオケ会	月2回	思いきり好きな歌をみんなの前で歌うことで適度な緊張感やストレス発散に繋げる
10	おやつ作り	月1回	作業を協力して行いながら、作って食べるという楽しみを味わう、また料理の知恵を出し合う
11	ビデオ鑑賞	月1回	閉じこもり防止
12	ドライブ	随時	いつもと違う場所に出掛けたり食事を摂ることで生活に潤いをあたえる
13	外食	随時	
14	元気体操	月2回	ボールなどを使用し楽しく体力増進に繋げ心のリフレッシュを図る
15	ずんどこ体操	毎週土曜日	筋力低下と閉じこもり予防
16	うらら小さなジム	月2回	楽しみながら運動習慣を身につける
17	体重測定	月1回月上旬	入居者の健康状態のチェック、体調や健康に関してのアドバイスや相談
18	血圧測定	随時	
19	市内医療機関送迎	毎週水曜日	市内医療機関の受診の送迎

8-2 ケアハウス年間行事

年間行事		実施予定日	目標・目的
4月	花見	中旬	野外に出掛け桜を見ながら春を感じ気分転換を図る
5月	本楯祭り・奴振り	5月3日	地元の伝統行事の祭に参加し、地域との交流を図る
	藤の花見学	上旬～中旬	外の爽やかな空気を触れ、ドライブを兼ね季節の藤の花を皆さんと一緒に見学し楽しむ
	防災訓練	未定	危機感を持って行い急な災害に対応できるよう、防災設備の確認と訓練を行う
	生バンド演奏会	下旬	吹奏楽愛好会の人達が演奏する生バンド演奏を楽しむ
6月	地区運動会	上旬	地域の方とのふれ合いを持ち、みんなで楽しく体を動かしながら交流を持つ
	平田植木祭り	上旬	外気に触れ、植木を見て気分転換を図る
	詩吟教室	中旬	地域の方々がふるさとの皆さんの作品を歌にし披露する
	あじさい見学	下旬	気分転換を兼ねて季節の花を眺めながら風情を楽しむ
7月	七夕飾り	上旬～中旬	協力し飾りや短冊作りを行い入居者同士の交流を図る
	ドライブ	中旬	外気に触れ季節感を味わい、心身のリフレッシュを図る
	本楯保育園夏祭り	下旬	地域住民、園児との交流を楽しむ
8月	みんなの夏祭り	中旬	地域の住民として大きな行事に参加し、入居者同士協力し作品作りや、出店等を盛り上げる
	そばツアー	下旬	外に出掛け皆さんで外食を楽しむ
9月	本楯地区敬老会	中旬	地域の会に参加し、住民として一緒にお祝いする
	ふるさと敬老会	中旬～下旬	特別行事食とし、お互いの敬老を祝う
	保育園運動会	下旬	園児と共に競技を楽しむ
10月	ふるさと大運動会	中旬	チームで協力し競技に参加する楽しさと、体を動かす事で体力アップ、閉じこもり防止を図る
	紅葉狩りドライブ	中旬	紅葉を見ながら、ドライブを楽しむ
	防災訓練	未定	災害に対応できるよう防災設備の確認と避難訓練を行う
11月	本楯コミュニティ祭り	上旬	自分の作品や書を展示し地域行事に参加すると共に見てみてもらう事で自信に繋げる
	鳥海小発表会	上旬	歌の会の成果を皆の前で発表し達成感と喜びを感じる
	ふるさと秋祭り	中旬	ふるさとで収穫した食材も含め、秋の味覚を楽しみながら入居者同士の交流を深める
12月	合唱コンサート	中旬	マリーージュニア合唱団の子供達が歌を披露してくれる
	クリスマス会	下旬	冬景色の中みんなと一緒にテーブルを囲みクリスマスの雰囲気味わいながら楽しい時間を過ごす
	餅つき	12月30日	入居者とスタッフが協力し年末恒例の餅つきを行う
1月	初詣	上旬	神社にお参りし一年間の無病息災を願う
	獅子舞	上旬	伝統的な行事を見学する
2月	豆まき	2月3日	年男・年女の協力を得て豆をまき、厄を払う
3月	ひな祭り	3月3日	雛人形を飾り皆さんの健康を願う

8-3 保育園年間行事

月	主 な 行 事
4月	・入園式・なかよし会・保護者役員会・保護者会総会 ・クラス懇談会・お花見会・お祭りっこ
5月	・(うらら、ふるさとおみこし訪問)・畑作り・田植え・内科健診・眼科健診・歯科 検診・耳鼻科検診・交通安全教室・遠足ごっこ
6月	・地区運動会・花いっぱい運動・尿検査(3歳以上児)・引渡し訓練
7月	・七夕まつり・(保育参観)・プール開き・保護者役員会
8月	夏祭り・プール納め
9月	・運動会・地区敬老会・保護者役員会
10月	・交通安全教室 ・内科健診・さつまいも掘り・稲刈り、脱穀体験
11月	・文化祭作品展示
12月	・クリスマス会 ・ミニクリスマス会
1月	・獅子舞・子ども獅子舞・子ども新年会
2月	・豆まき・お茶レッスン・鳥海小1年生と交流会・相撲大会・交通安全教室・音楽 発表会
3月	・ひなまつり・お別れ会・お茶会・卒園式・保護者役員会

*毎月、誕生会・避難訓練・身体計測を実施する。

*保育園バスでの園外活動や「うらら」「ほなみ」「ふるさと」との交流活動は随時実施する。

*就学前教育保育の充実を目指し、子どもの主体性を伸ばす教育・保育を展開する。学びにつながる体験の多様性・植物栽培・英語で遊ぼう・音楽を楽しもう・読み聞かせ等

8-4 学童保育年間行事

4月	・歓迎会、進級おめでとう会 ・手作りおやつ	10月	・ハロウィン ・手作りおやつ
5月	・手作りおやつ	11月	・文化祭作品展示物作成 ・手作りおやつ
6月	・手作りおやつ ・花植え	12月	・クリスマス会 ・手作りおやつ
7月	・流しそうめん・手作りおやつ ・夏祭り・七夕祭り	1月	・新年会 ・手作りおやつ
8月	・避難訓練・水あそび ・手作りおやつ	2月	・節分・バレンタイン ・手作りおやつ
9月	・映画鑑賞・手作りおやつ ・避難訓練	3月	・お雛祭り・1年間お疲れ様会 ・地域交流会・手作りおやつ

令和4年度 予算書

令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

社会福祉法人 本橋たちばな会

(単位:円)

科 目	予算額	前年度予算額	増 減	備 考
事業活動による収支				
収入				
介護保険事業収入	[35,050,000]	[39,532,442]	[4,482,442]	
居宅介護料収入 (介護報酬収入)	(34,350,000)	(33,698,842)	(651,158)	
介護報酬収入 (利用者負担金収入)	30,300,000	29,487,842	812,158	
介護負担金収入(公費)	1,100,000	1,087,000	13,000	
介護負担金収入(一般)	2,950,000	3,124,000	174,000	
その他の事業収入	(700,000)	(5,833,600)	(5,133,600)	
補助金事業収入	700,000	5,833,600	5,133,600	
老人福祉事業収入	[90,800,000]	[82,497,000]	[8,303,000]	
措置事業収入	(10,600,000)	(9,857,000)	(743,000)	
事務費収入	10,600,000	9,857,000	743,000	
運営事業収入	(80,200,000)	(72,640,000)	(7,560,000)	
管理費収入	16,100,000	15,150,000	950,000	
その他の利用料収入	36,800,000	32,680,000	4,120,000	
補助金事業収入	27,300,000	24,810,000	2,490,000	
保育事業収入	[106,521,500]	[106,234,500]	[287,000]	
保育所運営費収入	80,400,000	79,990,000	410,000	
学童委託費収入	11,320,500	11,212,000	108,500	
私的契約利用料収入	(1,362,000)	(1,368,500)	(6,500)	
延長保育料収入	62,000	62,000	0	
バス利用料収入	290,000	285,500	4,500	
一時保育料収入	0	8,000	8,000	
副食費	1,010,000	1,013,000	3,000	
利用者負担金収入	(2,939,000)	(2,518,000)	(421,000)	
保育料収入	2,550,000	2,197,000	353,000	
入所金収入	30,000	20,000	10,000	
保護者会費収入	359,000	301,000	58,000	
その他の事業収入	(10,500,000)	(11,146,000)	(646,000)	
補助金事業収入	10,500,000	11,146,000	646,000	
経常経費寄附金収入	[50,000]	[350,000]	[300,000]	
受取利息配当金収入	[1,200]	[1,500]	[300]	
その他の収入	[1,441,000]	[2,536,500]	[1,095,500]	
受入研修費収入	20,000	22,000	2,000	
利用者等外給食費収入	1,120,000	2,219,500	1,099,500	
雑収入	301,000	295,000	6,000	
事業活動収入計(1)	233,863,700	231,151,942	2,711,758	
支出				
人件費支出	[149,018,200]	[146,535,700]	[2,482,500]	
職員給料支出	91,257,600	86,698,700	4,558,900	
職員賞与支出	25,047,000	25,832,600	785,600	
非常勤職員給与支出	11,413,600	11,804,400	390,800	
退職給付支出	1,065,000	2,745,000	1,680,000	
法定福利費支出	20,235,000	19,455,000	780,000	
事業費支出	[33,503,000]	[35,255,000]	[1,752,000]	
給食費支出	19,100,000	18,809,000	291,000	
介護用品費支出	50,000	50,000	0	
保健衛生費支出	202,000	200,000	2,000	

科 目	予算額	前年度予算額	増 減	備 考
教養娯楽費支出	510,000	510,000	0	
日用品費支出	536,000	536,000	0	
保育材料費支出	655,000	647,000	8,000	
水道光熱費支出	8,620,000	8,612,000	8,000	
消耗器具備品費支出	1,880,000	3,961,000	2,081,000	
保険料支出	210,000	200,000	10,000	
賃借料支出	220,000	236,000	16,000	
教育指導費支出	485,000	483,000	2,000	
車輛費支出	970,000	949,000	21,000	
雑支出	65,000	62,000	3,000	
事務費支出	[25,891,000]	[31,386,000]	[5,495,000]	
福利厚生費支出	530,000	361,000	169,000	
職員被服費支出	30,000	64,000	34,000	
旅費交通費支出	390,000	339,000	51,000	
研修研究費支出	210,000	192,000	18,000	
事務消耗品費支出	410,000	500,000	90,000	
水道光熱費支出	10,500,000	9,730,000	770,000	
修繕費支出	1,800,000	3,757,000	1,957,000	
通信運搬費支出	705,000	676,000	29,000	
会議費支出	8,000	8,000	0	
業務委託費支出	6,285,000	7,979,000	1,694,000	
手数料支出	287,000	2,192,000	1,905,000	
保険料支出	1,100,000	1,072,000	28,000	
賃借料支出	850,000	892,000	42,000	
租税公課支出	30,000	960,000	930,000	
保守料支出	2,114,000	2,022,000	92,000	
諸会費支出	437,000	437,000	0	
雑支出	205,000	205,000	0	
支払利息支出	[2,849,000]	[2,060,000]	[789,000]	
その他の支出	[0]	[100]	[100]	
雑支出	0	100	100	
事業活動支出計(2)	211,261,200	215,236,800	3,975,600	
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	22,602,500	15,915,142	6,687,358	
施設整備等による収支				
収入				
設備資金借入金収入	[0]	[212,000,000]	[212,000,000]	
施設整備等収入計(4)	0	212,000,000	212,000,000	
支出				
設備資金借入金元金償還支出	[14,720,000]	[4,212,000]	[10,508,000]	
固定資産取得支出	[0]	[215,913,500]	[215,913,500]	
建物取得支出	0	1,210,000	1,210,000	
機械及び装置取得支出	0	2,953,500	2,953,500	
器具及び備品取得支出	0	73,120,300	73,120,300	
建設仮勘定支出	0	138,629,700	138,629,700	
施設整備等支出計(5)	14,720,000	220,125,500	205,405,500	
施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	14,720,000	8,125,500	6,594,500	
その他の活動による収支				
収入				
積立資産取崩収入	[12,000,000]	[13,480,588]	[1,480,588]	
退職給付引当資産取崩収入	0	1,480,588	1,480,588	
人件費積立資産取崩収入	5,000,000	5,000,000	0	
施設整備費等積立資産取崩収入	3,000,000	3,000,000	0	
修繕費積立資産取崩収入	4,000,000	4,000,000	0	
拠点区分間繰入金収入	[4,400,000]	[4,180,000]	[220,000]	

科 目	予算額	前年度予算額	増 減	備 考
その他の活動収入計(7)	16,400,000	17,660,588	1,260,588	
支出				
長期運営資金借入金元金償還支出	[0]	[3,010,000]	[3,010,000]	
積立資産支出	[14,025,000]	[13,980,825]	[44,175]	
退職給付引当資産支出	2,025,000	1,980,825	44,175	
その他積立資産支出	12,000,000	12,000,000	0	
拠点区分間繰入金支出	[4,700,000]	[4,180,000]	[520,000]	
その他の活動支出計(8)	18,725,000	21,170,825	2,445,825	
その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	2,325,000	3,510,237	1,185,237	
予備費支出(10)	0	0	0	
当期資金収支差額合計				
(11)=(3)+(6)+(9)-(10)	5,557,500	4,279,405	1,278,095	
前期末支払資金残高(12)	51,131,231	51,136,144	4,913	
当期末支払資金残高(11)+(12)	56,688,731	55,415,549	1,273,182	

令和4年度 予算書

令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

社会福祉法人 本橋たちばな会
社会福祉事業
本部

(単位:円)

科 目	予算額	前年度予算額	増 減	備 考
事業活動による収支				
収入				
その他の収入	[80,000]	[78,000]	[2,000]	
利用者等外給食費収入	80,000	78,000	2,000	
事業活動収入計(1)	80,000	78,000	2,000	
支出				
人件費支出	[3,962,000]	[3,744,000]	[218,000]	
職員給料支出	2,550,000	2,500,000	50,000	
職員賞与支出	820,000	701,000	119,000	
退職給付支出	47,000	45,000	2,000	
法定福利費支出	545,000	498,000	47,000	
事業費支出	[10,000]	[10,000]	[0]	
雑支出	10,000	10,000	0	
事務費支出	[417,000]	[407,000]	[10,000]	
福利厚生費支出	10,000	4,000	6,000	
旅費交通費支出	220,000	217,000	3,000	
事務消耗品費支出	50,000	49,000	1,000	
通信運搬費支出	5,000	5,000	0	
会議費支出	8,000	8,000	0	
業務委託費支出	75,000	75,000	0	
手数料支出	30,000	30,000	0	
諸会費支出	4,000	4,000	0	
雑支出	15,000	15,000	0	
事業活動支出計(2)	4,389,000	4,161,000	228,000	
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	4,309,000	4,083,000	226,000	
施設整備等による収支				
収入				
施設整備等収入計(4)	0	0	0	
支出				
施設整備等支出計(5)	0	0	0	
施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	0	0	0	
その他の活動による収支				
収入				
拠点区分間繰入金収入	[4,400,000]	[4,180,000]	[220,000]	
その他の活動収入計(7)	4,400,000	4,180,000	220,000	
支出				
積立資産支出	[85,000]	[80,000]	[5,000]	
退職給付引当資産支出	85,000	80,000	5,000	
その他の活動支出計(8)	85,000	80,000	5,000	
その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	4,315,000	4,100,000	215,000	
予備費支出(10)	0	0	0	
当期資金収支差額合計				
(11)=(3)+(6)+(9)-(10)	6,000	17,000	11,000	
前期末支払資金残高(12)	0	4,913	4,913	
当期末支払資金残高(11)+(12)	6,000	21,913	15,913	

令和4年度 予算書

令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

社会福祉法人 本橋たちばな会
社会福祉事業
ケアハウスふるさと

(単位:円)

科 目	予算額	前年度予算額	増 減	備 考
事業活動による収支				
収入				
介護保険事業収入	[35,050,000]	[39,532,442]	[4,482,442]	
居宅介護料収入	(34,350,000)	(33,698,842)	(651,158)	
(介護報酬収入)				
介護報酬収入	30,300,000	29,487,842	812,158	
(利用者負担金収入)				
介護負担金収入(公費)	1,100,000	1,087,000	13,000	
介護負担金収入(一般)	2,950,000	3,124,000	174,000	
その他の事業収入	(700,000)	(5,833,600)	(5,133,600)	
補助金事業収入	700,000	5,833,600	5,133,600	
老人福祉事業収入	[90,800,000]	[82,497,000]	[8,303,000]	
措置事業収入	(10,600,000)	(9,857,000)	(743,000)	
事務費収入	10,600,000	9,857,000	743,000	
運営事業収入	(80,200,000)	(72,640,000)	(7,560,000)	
管理費収入	16,100,000	15,150,000	950,000	
その他の利用料収入	36,800,000	32,680,000	4,120,000	
補助金事業収入	27,300,000	24,810,000	2,490,000	
経常経費寄附金収入	[50,000]	[350,000]	[300,000]	
受取利息配当金収入	[0]	[200]	[200]	
その他の収入	[1,040,000]	[1,030,000]	[10,000]	
利用者等外給食費収入	830,000	822,000	8,000	
雑収入	210,000	208,000	2,000	
事業活動収入計(1)	126,940,000	123,409,642	3,530,358	
支出				
人件費支出	[61,000,000]	[60,377,700]	[622,300]	
職員給料支出	39,500,000	37,398,700	2,101,300	
職員賞与支出	11,000,000	10,746,600	253,400	
非常勤職員給与支出	1,200,000	1,571,400	371,400	
退職給付支出	0	1,720,000	1,720,000	
法定福利費支出	9,300,000	8,941,000	359,000	
事業費支出	[21,796,000]	[22,481,000]	[685,000]	
給食費支出	14,200,000	13,950,000	250,000	
介護用品費支出	50,000	50,000	0	
保健衛生費支出	100,000	100,000	0	
教養娯楽費支出	285,000	285,000	0	
日用品費支出	151,000	151,000	0	
水道光熱費支出	5,400,000	5,290,000	110,000	
消耗器具備品費支出	1,300,000	2,370,000	1,070,000	
賃借料支出	170,000	155,000	15,000	
車輛費支出	130,000	120,000	10,000	
雑支出	10,000	10,000	0	
事務費支出	[20,730,000]	[25,097,000]	[4,367,000]	
福利厚生費支出	250,000	137,000	113,000	
旅費交通費支出	50,000	24,000	26,000	
研修研究費支出	40,000	31,000	9,000	
事務消耗品費支出	150,000	255,000	105,000	
水道光熱費支出	10,500,000	9,730,000	770,000	
修繕費支出	1,500,000	2,220,000	720,000	
通信運搬費支出	300,000	286,000	14,000	

科 目	予算額	前年度予算額	増 減	備 考
業務委託費支出	4,000,000	5,700,000	1,700,000	
手数料支出	200,000	2,107,000	1,907,000	
保険料支出	850,000	835,000	15,000	
賃借料支出	850,000	892,000	42,000	
租税公課支出	30,000	960,000	930,000	
保守料支出	1,700,000	1,610,000	90,000	
諸会費支出	290,000	290,000	0	
雑支出	20,000	20,000	0	
支払利息支出	[2,849,000]	[2,060,000]	[789,000]	
その他の支出	[0]	[100]	[100]	
雑支出	0	100	100	
事業活動支出計(2)	106,375,000	110,015,800	3,640,800	
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	20,565,000	13,393,842	7,171,158	
施設整備等による収支				
収入				
設備資金借入金収入	[0]	[212,000,000]	[212,000,000]	
施設整備等収入計(4)	0	212,000,000	212,000,000	
支出				
設備資金借入金元金償還支出	[14,720,000]	[4,212,000]	[10,508,000]	
固定資産取得支出	[0]	[213,933,500]	[213,933,500]	
建物取得支出	0	1,210,000	1,210,000	
機械及び装置取得支出	0	973,500	973,500	
器具及び備品取得支出	0	73,120,300	73,120,300	
建設仮勘定支出	0	138,629,700	138,629,700	
施設整備等支出計(5)	14,720,000	218,145,500	203,425,500	
施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	14,720,000	6,145,500	8,574,500	
その他の活動による収支				
収入				
積立資産取崩収入	[0]	[1,480,588]	[1,480,588]	
退職給付引当資産取崩収入	0	1,480,588	1,480,588	
その他の活動収入計(7)	0	1,480,588	1,480,588	
支出				
長期運営資金借入金元金償還支出	[0]	[3,010,000]	[3,010,000]	
積立資産支出	[620,000]	[607,825]	[12,175]	
退職給付引当資産支出	620,000	607,825	12,175	
拠点区分間繰入金支出	[2,400,000]	[2,230,000]	[170,000]	
その他の活動支出計(8)	3,020,000	5,847,825	2,827,825	
その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	3,020,000	4,367,237	1,347,237	
予備費支出(10)	0	0	0	
当期資金収支差額合計				
(11)=(3)+(6)+(9)-(10)	2,825,000	2,881,105	56,105	
前期末支払資金残高(12)	26,501,462	26,501,462	0	
当期末支払資金残高(11)+(12)	29,326,462	29,382,567	56,105	

令和4年度 予算書

令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

社会福祉法人 本橋たちばな会
社会福祉事業
本橋保育園

(単位:円)

科 目	予算額	前年度予算額	増 減	備 考
事業活動による収支				
収入				
保育事業収入	[92,210,000]	[92,335,500]	[125,500]	
保育所運営費収入	80,400,000	79,990,000	410,000	
私的契約利用料収入	(1,310,000)	(1,316,500)	(6,500)	
延長保育料収入	10,000	10,000	0	
バス利用料収入	290,000	285,500	4,500	
一時保育料収入	0	8,000	8,000	
副食費	1,010,000	1,013,000	3,000	
その他の事業収入	(10,500,000)	(11,029,000)	(529,000)	
補助金事業収入	10,500,000	11,029,000	529,000	
受取利息配当金収入	[200]	[300]	[100]	
その他の収入	[110,000]	[1,267,500]	[1,157,500]	
受入研修費収入	20,000	22,000	2,000	
利用者等外給食費収入	0	1,159,500	1,159,500	
雑収入	90,000	86,000	4,000	
事業活動収入計(1)	92,320,200	93,603,300	1,283,100	
支出				
人件費支出	[72,250,000]	[71,292,000]	[958,000]	
職員給料支出	43,500,000	41,290,000	2,210,000	
職員賞与支出	13,000,000	12,702,000	298,000	
非常勤職員給与支出	6,100,000	7,778,000	1,678,000	
退職給付支出	850,000	846,000	4,000	
法定福利費支出	8,800,000	8,676,000	124,000	
事業費支出	[10,885,000]	[11,849,000]	[964,000]	
給食費支出	4,900,000	4,859,000	41,000	
保健衛生費支出	75,000	73,000	2,000	
教養娯楽費支出	105,000	105,000	0	
日用品費支出	300,000	307,000	7,000	
保育材料費支出	375,000	372,000	3,000	
水道光熱費支出	3,000,000	3,105,000	105,000	
消耗器具備品費支出	500,000	1,433,000	933,000	
保険料支出	210,000	200,000	10,000	
賃借料支出	50,000	41,000	9,000	
教育指導費支出	485,000	483,000	2,000	
車輛費支出	840,000	829,000	11,000	
雑支出	45,000	42,000	3,000	
事務費支出	[4,395,000]	[5,552,000]	[1,157,000]	
福利厚生費支出	250,000	198,000	52,000	
職員被服費支出	30,000	64,000	34,000	
旅費交通費支出	120,000	98,000	22,000	
研修研究費支出	160,000	159,000	1,000	
事務消耗品費支出	150,000	142,000	8,000	
修繕費支出	300,000	1,537,000	1,237,000	
通信運搬費支出	230,000	222,000	8,000	
業務委託費支出	2,200,000	2,194,000	6,000	
手数料支出	55,000	53,000	2,000	
保険料支出	250,000	237,000	13,000	
保守料支出	405,000	403,000	2,000	
諸会費支出	135,000	135,000	0	

科 目	予算額	前年度予算額	増 減	備 考
雑支出	110,000	110,000	0	
事業活動支出計(2)	87,530,000	88,693,000	1,163,000	
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	4,790,200	4,910,300	120,100	
施設整備等による収支				
収入				
施設整備等収入計(4)	0	0	0	
支出				
固定資産取得支出	[0]	[1,980,000]	[1,980,000]	
機械及び装置取得支出	0	1,980,000	1,980,000	
施設整備等支出計(5)	0	1,980,000	1,980,000	
施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	0	1,980,000	1,980,000	
その他の活動による収支				
収入				
積立資産取崩収入	[12,000,000]	[12,000,000]	[0]	
人件費積立資産取崩収入	5,000,000	5,000,000	0	
施設整備費等積立資産取崩収入	3,000,000	3,000,000	0	
修繕費積立資産取崩収入	4,000,000	4,000,000	0	
その他の活動収入計(7)	12,000,000	12,000,000	0	
支出				
積立資産支出	[13,160,000]	[13,148,000]	[12,000]	
退職給付引当資産支出	1,160,000	1,148,000	12,000	
その他積立資産支出	12,000,000	12,000,000	0	
拠点区分間繰入金支出	[1,800,000]	[1,690,000]	[110,000]	
その他の活動支出計(8)	14,960,000	14,838,000	122,000	
その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	2,960,000	2,838,000	122,000	
予備費支出(10)	0	0	0	
当期資金収支差額合計				
(11)=(3)+(6)+(9)-(10)	1,830,200	92,300	1,737,900	
前期末支払資金残高(12)	18,015,664	18,015,664	0	
当期末支払資金残高(11)+(12)	19,845,864	18,107,964	1,737,900	

令和4年度 予算書

令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

社会福祉法人 本橋たちばな会
社会福祉事業
鳥海学童クラブ

(単位:円)

科 目	予算額	前年度予算額	増 減	備 考
事業活動による収支				
収入				
保育事業収入	[14,311,500]	[13,899,000]	[412,500]	
学童委託費収入	11,320,500	11,212,000	108,500	
私的契約利用料収入	(52,000)	(52,000)	(0)	
延長保育料収入	52,000	52,000	0	
利用者負担金収入	(2,939,000)	(2,518,000)	(421,000)	
保育料収入	2,550,000	2,197,000	353,000	
入所金収入	30,000	20,000	10,000	
保護者会費収入	359,000	301,000	58,000	
その他の事業収入	(0)	(117,000)	(117,000)	
補助金事業収入	0	117,000	117,000	
受取利息配当金収入	[1,000]	[1,000]	[0]	
その他の収入	[211,000]	[161,000]	[50,000]	
利用者等外給食費収入	210,000	160,000	50,000	
雑収入	1,000	1,000	0	
事業活動収入計(1)	14,523,500	14,061,000	462,500	
支出				
人件費支出	[11,806,200]	[11,122,000]	[684,200]	
職員給料支出	5,707,600	5,510,000	197,600	
職員賞与支出	227,000	1,683,000	1,456,000	
非常勤職員給与支出	4,113,600	2,455,000	1,658,600	
退職給付支出	168,000	134,000	34,000	
法定福利費支出	1,590,000	1,340,000	250,000	
事業費支出	[812,000]	[915,000]	[103,000]	
保健衛生費支出	27,000	27,000	0	
教養娯楽費支出	120,000	120,000	0	
日用品費支出	85,000	78,000	7,000	
保育材料費支出	280,000	275,000	5,000	
水道光熱費支出	220,000	217,000	3,000	
消耗器具備品費支出	80,000	158,000	78,000	
賃借料支出	0	40,000	40,000	
事務費支出	[349,000]	[330,000]	[19,000]	
福利厚生費支出	20,000	22,000	2,000	
研修研究費支出	10,000	2,000	8,000	
事務消耗品費支出	60,000	54,000	6,000	
通信運搬費支出	170,000	163,000	7,000	
業務委託費支出	10,000	10,000	0	
手数料支出	2,000	2,000	0	
保守料支出	9,000	9,000	0	
諸会費支出	8,000	8,000	0	
雑支出	60,000	60,000	0	
事業活動支出計(2)	12,967,200	12,367,000	600,200	
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	1,556,300	1,694,000	137,700	
施設整備等による収支				
収入				
施設整備等収入計(4)	0	0	0	
支出				
施設整備等支出計(5)	0	0	0	
施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	0	0	0	

科 目	予算額	前年度予算額	増 減	備 考
その他の活動による収支				
収入				
その他の活動収入計(7)	0	0	0	
支出				
積立資産支出	[160,000]	[145,000]	[15,000]	
退職給付引当資産支出	160,000	145,000	15,000	
拠点区分間繰入金支出	[500,000]	[260,000]	[240,000]	
その他の活動支出計(8)	660,000	405,000	255,000	
その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	660,000	405,000	255,000	
予備費支出(10)	0	0	0	
当期資金収支差額合計				
(11)=(3)+(6)+(9)-(10)	896,300	1,289,000	392,700	
前期末支払資金残高(12)	6,614,105	6,614,105	0	
当期末支払資金残高(11)+(12)	7,510,405	7,903,105	392,700	

